

# President's message

RI 会長メッセージ

## ロータリアンとロータリー家族の皆さん

アメリカでは、今年も夏が過ぎようとしています。毎年、マローニ一家の夏の終わりを飾るのは、私の故郷、イリノイ州リッジウェイで開催されるポップコーン・デーフェスティバルです。私はそのイベントで「ポップコーン・キング」として司会の役を務めています。

一年を通して、どの家庭でもその家庭ならではのしきたりがありますが、「機会を見つけて、家族をロータリーのみみんなに紹介する」という新しいしきたりを取り入れてはいかがでしょうか。わが家では、子どもや孫たちを国際大会に連れていくのがしきたりの一つとなっています。ホノルルで開催される2020年国際大会は、お子さんやお孫さんにロータリーの国際性を伝えるための素晴らしい機会です。私たちは誰もが楽しめる、家族向けのイベントをいくつも計画しています。

ロータリーの奉仕プロジェクトや募金イベントに家族を連れていくのに時は問いません。とはいえ、クラブが開催するイベントで、家族向けのものはあまりないかもしれません。だからこそ、ロータリーのイベントの多くを家族向けのものにするのを、私は今年度の優先事項の一つとして掲げているのです。

ロータリーの活動が家庭生活と競合するのではなく、補完し合うような文化を育てていきましょう。会員にどちらかを選ばせるようなことがあってはなりません。つまり、現実的に無理なことは会員に求めず、家庭に配慮して日程を組み、あらゆるレベルのロータリーのイベントで子どもたちを歓迎するということです。

21世紀に精力的な奉仕団体としてロータリーが今後も活躍していくために必要としている若い職業人たちは、まさに家庭の責任を大きく担っている世代でもあります。子どもが歓迎されない夜間や週末にイベントを開くことで、こうした若い会員を家庭から奪ってはなりません。

私たちロータリーはあまりにも長い間、多くのイベントで子どもたちや、ときには配偶者の参加を拒んできました。なんと機会を無駄にしてきたことでしょうか。ロータリーをさらに成長させ、次の世代もロータリーの使命のために尽力できるようにするつもりなら、ロータリーという贈り物を若い人々に託す機会は、全て生かさなくてはなりません。

子どもたちや孫たちがインターアクト、ローターアクト、ロータリーの入会についてもっと知りたくなるような、楽しいイベントを開催しましょう。いきなり始めるのが難しければ、家庭に配慮した時間で会合を開くなど、まずはちょっとしたことから始めてください。そして、今後もこういうイベントを続けていくにはどうしたらいいかを、考えましょう。

子どもたちをロータリーのイベントに参加させることは、楽しいだけでなく、子どもたちの目を世界に向けさせることにもなるのです。ロータリーが世界をつなぐ今年度を、家族にとって記念となる一年、そして、拡大し続けるロータリー家族にとって忘れられない一年にしましょう。



MARK DANIEL MALONEY

2019-20年度 国際ロータリー (RI) 会長



ロータリーの友   
Home Page  
[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)

原文 (英語) はこちらから